

数学 北海道大学 総合入試【理系】、学部入試【獣医・水産・医(医)・医(保健放射線・検査・理学)・歯】

<全体分析>

試験時間	120分	解答問題数	5題
------	------	-------	----

解答形式

全問記述形式

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化）

完答しにくい問題もあるが、全体としては大きな変化はない。

出題の特徴

今年も「複素数平面」からの出題がなかったが、「極限」に関する問題が2題も出題された。
また、文系との共通・類似問題（**3**）が出題された。

その他トピックス（入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など）

1のような「平面ベクトル」の問題は、1973年以來でとても珍しい。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
1	平面ベクトル	数学B	三角形の外心のベクトル表示を求める問題。 (2)、(3)はいろいろな解法があるだろう。	やや易
2	整数 図形と方程式	数学A 数学II	条件を満たす格子点を考え、その個数を数える問題 で、落ち着いて考えれば難しくない。	標準
3	確率 整数	数学A 数学A	文系（ 3 ）との類似問題だが、理系のみ設問(3) がやはり考えにくい。	標準
4	数列の極限 微分法	数学III 数学III	不等式をきちんと示すために「微分法」を用いるのが よいだろう。最後まで解くのは難しいかもしれない。	やや難
5	積分法	数学III	「定積分で定義された関数」という北大の頻出タイプ の問題ではあるが、最初に定積分を計算しないと難しく なる。無事にスタートを切ることができれば、それ ほど難しくはない。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

数学IIIの「極限、微分法、積分法」からの問題が5題中2題出題されるということが2年続いた。北大のこの分野の問題は得点源になることが多いのだが、昨年も今年もやさしくはない問題が中心になっている。したがって、この分野の学習は早い時期からしっかりとやっておきたい。また、今年の**1**のような問題の出題を考えると、過去問だけにこだわらず幅広い分野の対策をきちんとやっておきたい。